

かほだより



長野県伊那家畜保健衛生所

TEL: 0265-72-2782, 090-5444-0970

Fax: 0265-72-2765

E-mail: inakachiku@pref.nagano.lg.jp

住所: 伊那市西町 5764

伊那諏訪家畜産物衛生指導協会

TEL&FAX: 0265-76-8086

26-2号
H26. 6. 12



じめじめした
季節

大腸菌性乳房炎に注意!

天気予報では今年の夏はエル・ニーニョ現象の影響で冷夏との予報が出ていますが、6月初めから真夏日を記録したり、予報より早く梅雨入りしたりと天候が安定していません。

高温多湿になるこれからの時期、要注意なのが大腸菌性乳房炎です。大腸菌、クレブシエラなど糞便中の腸内細菌（大腸菌群）が敷料など環境中で増殖し、乳頭からの感染機会が増えます。さらに、乳牛自体の体力が低下した状態で感染が起こると、非常に急性かつ死亡率の高い壊疽性乳房炎を引き起こします。

こんなときは要チェック!!

★暑熱、周産期などのストレスで牛の体力が低下している

★急速な臨床症状の進行

乳房の硬結・腫脹・紫斑、疼痛と熱を伴い搾乳困難、ブツの多い水様性乳汁、発熱～低体温（体表の冷感）、沈うつ、食欲不振～廃絶、眼の陥凹（脱水）、起立不能が急性～甚急性に経過 ⇒ 死亡率が高い



●発生が疑われたら● . . . まず頻回搾乳

大腸菌性乳房炎は、大腸菌の菌体毒素（エンドトキシン）による全身の炎症反応を引き起こします。感染が疑われたら、流水や冷湿布で乳房を冷やし、頻回に搾乳を行い可能な限り原因菌やエンドトキシンの排出を促します。

抗生剤の使用は慎重を要します。治療は対象療法による全身的な薬物の併用が不可欠ですので、直ぐに獣医さんに依頼しましょう。

●予防● . . . 衛生対策とストレスの低減

○普段より敷料を多く使い、牛床を乾燥させ清潔に

（特にオガクズ使用時は注意、敷料に消石灰（5%程度）を混合する）

○分娩前後は体力が低下し感染しやすいため、清潔な分娩舎を確保

○搾乳衛生の徹底

搾乳の前後の（プレ・ポスト）ディッピング等で乳頭の細菌を減らす

ミルカーをかける前に乾いた布やペーパータオルで乳頭を十分に乾燥させる

○ヒートストレスの軽減（換気扇、送風機、ポリダクト等による送風・通風促進）

《 飼養衛生管理基準を守り、引き続き防疫対策に万全を期していただくようお願いします 》